

隣保館だより

第388号

2018年 10月号

発行◎九重町隣保館

大分県玖珠郡九重町大字右田3088-2

TEL: 0973-76-2468 FAX: 0973-76-2446



秋風になびく秋桜^{コスモス}

こす もす
秋 桜

あき の はら あざ いろど
秋の野原に 鮮やかに 彩る
あき さ さくら
秋に咲く桜 コスモス

いろ ころ
いろいろな色に 心やすらぐ

はな
花ことばは

あか あいじょう しろ ゆうび じゅんあい
赤「愛情」 白「優美」 ピンク「純愛」

みんなちがって みんないい

九重町隣保館人権学習会を開催しました。

9月19日(水)に九重町隣保館において、豊後大野市隣保館指導員 石川英雄(いしかわ ひでお)さんをお迎えし、「部落差別とわたし」と題して講演して頂きました。



講師 石川 英雄さん

石川さんは、1871(明治4)年に解放令が出されて、部落差別は解消されるはずでしたが、解消されなかったことや、2016(平成28)年に施行された「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ解消法」「部落差別解消推進法」の差別解消三法は、2年後に、東京オリンピックが開催されることで、先進国として、障害者に対する差別や、外国人に対する差別などの人権侵害を無くす為に出来たのではないかと。このような法律を必要としない、世の中になっ

てほしいと話されました。

また、大野町では、過去に差別発言があり、そのことについて原因を究明し、各種団体や大野町議会議員、大野町職員組合、解放同盟が一緒になって学習会を行い、今後の取り組みに活かしたことや、教育現場では大野町に被差別部落があることを、子どもたちが知っているということを生徒へのアンケートで知り、部落問題を正しく教えてもらったことなど話されました。



会場の様子

そして「差別は残酷です。これからを担う子どもたちに、こんな思いをさせたくない。私は、普通になりたい。普通でない事が、部落問題なのだ。心の中に善玉と悪玉がある。できるなら、善玉が勝ってほしい。」と熱く語られました。

学習会に参加された方の感想を紹介します

- 差別があることに無関心であるということは無意識のうちに差別を容認していることと同じ。常に自分の中の差別心を認めつつ、アンテナを高くもって生活していきたいと思う。
- 「差別」がいかにか人に苦しめるか改めて痛感しました。差別をされる謂われも無いのに、小さな子どもから大人まで理不尽に晒されていることを考えるととても悲しく思います。部落差別は江戸時代から続く差別ですが、これにより人生を狂わされた方がいらっしゃいます。こういった差別が1秒でも早くなくなるように私も差別解消に少しでも携われたらと思います。講演お疲れ様でした。
- 差別のない世の中になる為に、差別について考える機会、正しい情報、知識を得ていかなければいけないと思います。全ての人に幸せになる権利がある、その権利をおびやかすことは親であってもあってはならないことだと思います。学習する機会が多くの人にあり、みんなで差別をなくす努力をしていけば良いなあと感じました。

元気に 【敬老のお祝い・同窓会】 を開催しました

9月13日(木) 敬老の日を前に恒例となりました敬老のお祝い会を九重町隣保館ハッスルシルバース(つばき会・すずらん会・飯田ふれあいサロン・ひまわり会)の皆さんと来賓に九重町隣保館運営審議委員の方々をお迎えし、開催しました。

はじめに、演題「いいかげんなじんせい」と題して、講師に岩室山浄専寺の工藤至心(くどうまこと)さんに講演をしていただきました。「健康」という字には、意味があり「すこやかな体とおだやかな心」があり、「生死」生まれくることは、奇跡であり死は当然であることから、朝の目覚めは、自分の心を見つめ、一日に感謝して過ごすこと、夜には、一日を無事に終えることを感謝することの大切なこと等、生きていくうえで必要なお話に一同うなずきながら、熱心に聞いていました。昼食の後は、各会の紹介や、レクリエーション(ゲーム・歌)を行いました。笑顔いっぱい笑い声の響く楽しい一日を過ごしました。



ハッスルシルバース敬老会



ハッスルシルバース同窓会

9月28日(金)九重町隣保館デイサービスハッスルシルバースを卒業された方々の同窓会を開催しました。はじめに、敬老のお祝いの会で講演をお願いしました工藤至心さんに講演をしていただきました。演題「いいかげんなじんせい」とは「良い加減、丁度良い、中道(良いでも悪いでも)が良い。かたよらずに、偏見を持たない心を持つこと、人が悲しんでいたら、その人の側に寄り添える一人ひとりでありたい」と人権の基本である相手を感じる気持ちを伝えていただきました。その後、昼食を皆さんでおいしくいただきました。皆さんの希望により、今年度から2回の開催になり、5月に続き、2回目の開催に喜びいっぱいの皆さんでした。お互いの健康を気遣いながら、「元気で又必ず会いましょう」と約束する光景に人権を学んできた学びの友としての皆さんの姿に、人と人との出会い、絆を感じる一日でした。

【第11回全国隣保館連絡協議会九州ブロック女性職員研修会】

9月20日(木)～21日(金)の2日間、鹿児島県鹿児島市において、研修テーマ「隣保館の活性化に向け、地域とのつながり、必要とされる女性職員になろう!」のもと、女性職員研修会が開催されました。

記念講演では、「私の心がみえますか?」と題して、老人ホーム「善の心」施設長・認知症の人と家族の会(鹿児島県支部代表)の藤崎えり子さんが講演されました。

講演の中で、認知症への正しい理解、まわりの家族の理解、若年性認知症の増加に伴う現代社会の状況などをお話しされ、人の心が見えないからこそ、心の中を見ようとする優しい心が大切であり、人と人とのあたたかさが一番の薬であると伝えていただきました。

分科会では、3つの分科会ごとに、活発な意見交換ができました。今回の研修の学びをこれからの隣保館活動につなげていこうと感じています。

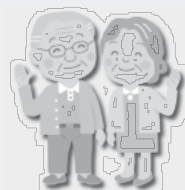
お 知 ら せ

九重町隣保館人権学習会の開催

■高齢者の人権

■日 時：11月21日(水) 19:00～

■場 所：九重町隣保館 2階展示室



☆新規購入 DVD貸出し 個人・団体・会社でもお気軽にご利用ください。

DVDの題名	時 間
人間として ～ハンセン病元原告たちのたたかい～	54分
むしむし村の仲間たち みんないいところあるんだよ	15分
障がいを超えて	30分
シリーズ映画でみる人権の歴史 第5巻 渋染一揆を闘いぬいた人々	18分
気づいて一歩ふみだすための人権シリーズ④ 誰もがその人らしくーLGBTー	20分
平成27年度北九州市人権啓発アニメーション 光射す空へ	32+14分
部落差別の心を伝えたい 出会いから学ぶ ～しなやかな新世代・高田美紀～	29分
一人形アニメーションー 島の暮れ方の話	10分



◇これからの行事◇

【月・木は人権相談日】

月 日	行 事 名
10月18日(木)	デイサービス事業(すずらん会)
10月19日(金)	書曲解放学習会(書曲三集会所)
10月23日(火)	パソコン教室応用編③
10月25日(木)	デイサービス事業(ひまわり会)
10月30日(火)	パソコン教室応用編④



月 日	行 事 名
11月1日(木)	デイサービス事業(つばき会)
11月5日(月)	編み物教室
11月6日(火)	パワーアップ教室 パソコン教室応用編⑤
11月9日(金)	生け花教室 デイサービス事業(飯田ふれあいサロン)
11月13日(火)	パソコン教室応用編⑥
11月14日(水)	隣保館運営審議会視察研修
11月15日(木)	デイサービス事業(すずらん会)